

大分県公立学校教員育成指標の改訂

— 養護教諭及び栄養教諭の資質能力 —

1 教育公務員特例法（抜粋）

（校長及び教員としての資質の向上に関する指標）

第二十二條の三 公立の小学校等の校長及び教員の任命権者は、指針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該校長及び教員の職責、経験及び適性に応じて向上を図るべき校長及び教員としての資質に関する指標を定めるものとする。

2 現行の指標における養護教諭及び栄養教諭の資質能力の取扱い

○複数の職に共通の指標として策定し、そのうちの特定の職に必要な事項について留意事項を付すことを可能とする指針の取扱いに沿って策定

3 文部科学省「養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査研究協力者会議」議論の取りまとめ（R5.1.17）

（1）求められる役割（職務の範囲）の明確化

＜養護教諭＞

- ①保健管理 ②保健教育 ③健康相談及び保健指導
- ④保健室経営 ⑤保健組織活動

＜栄養教諭＞

- ①食に関する指導 ②学校給食の管理

（2）「資質の向上に関する指標」を基軸とした養成と採用・研修の接続、連携

- 資質能力は養成・採用・研修の各段階において育成を図ることが必要
- 専門性に関する指標は個別又は指標を定める事項を追加することが望ましい

4 養護教諭及び栄養教諭の資質能力に関する指標の改訂（案）

（1）「教諭等」の指標に加え、専門性に関する指標を別に作成

※現行の「教諭等」の指標の読みかえ例は削除

（2）文部科学省が示した求められる役割（職務の範囲）を基に資質能力を設定

（3）キャリアステージを通して求める力としてコーディネートの力を明示

（4）第3ステージでは地域の養護教諭及び栄養教諭への指導や助言を明記

大分県公立学校教員育成指標(教諭等)

現 行

キャリアステージ		第0ステージ 養成期	第1ステージ 基礎形成期	第2ステージ 発展期	第3ステージ 充実深化・円熟期	
		教育に対する知見を深め、求められる資質能力の基盤を形成する	採用から早い時期に、教員としての幅広い視野と能力の伸長を図る	基礎形成期の多様な経験をもとに、中堅教員として各種の分掌主任等を経験することなどで一層の能力伸長を図る	・発展期での経験をもとに、管理分野や教科指導等の専門分野の複線化も視野に入れ、より一層の能力伸長を図る ・学校経営ビジョンを理解し、職責、経験に応じたリーダーシップの向上を図る	
教職としての素養	社会人に求められる基礎的な能力	高い倫理観を有するとともに、法令を遵守することの重要性を理解している。	高い倫理観に基づき、法令を遵守した教育活動の展開ができる。		高い倫理観をもって、法令を遵守した教育活動を展開することについて、同僚に指導助言ができる。	
	教育公務員の使命と責任	教育公務員の崇高な使命を理解するとともに、自ら学び続ける意欲及び研究能力を有している。	教育公務員としての自覚をもち、組織の一員としての行動ができるとともに、専門性を高めるために自ら学び続けることができる。	教育公務員としての自覚を深めるとともに、自ら学び続け、分掌主任、学年主任等として、同僚に助言ができる。	教育公務員としての自覚を深めるとともに、自ら学び続け、学校マネジメントの中核を担う教員として、同僚に指導助言ができる。	
	コミュニケーション能力	状況に応じて、相手が理解できるように自分の考えを伝えたり、相手の話を丁寧に聴くことができる。	関係者との連絡調整を適切に行い、職務を円滑に遂行できる。		組織の目的や自分の意思が相手に充分伝わるよう説明ができるとともに、関係者の協力を得られるよう相手の意見も踏まえながら調整ができる。	
教職の実践	学習指導と評価の力	授業構想力	学習指導要領を理解するとともに、育成を目指す資質能力を明確にした授業のイメージをもつことができる。	学習指導要領に基づき、育成を目指す資質能力を明確にした授業の指導計画を適切に実施できる。	学習指導要領及び自校の指導方針に基づき、育成を目指す資質能力を明確にした授業の指導計画を立案し、同僚に指導助言ができる。	
		授業展開力	授業展開に必要な基礎的なスキルを獲得している。	基礎的なスキルを生かした授業展開ができる。	児童生徒の実態に即した授業展開ができる。	児童生徒の実態に即した授業展開について、同僚に指導助言ができる。
		授業評価と改善	学習評価の意義と方法について理解している。	児童生徒一人一人の学習状況の把握と個に応じた適切な指導ができる。	適切な授業評価に基づく授業改善ができる。	適切な授業評価に基づく授業改善について、同僚に指導助言ができる。
	児童生徒指導と集団づくりの力	児童生徒理解	児童生徒理解の意義と重要性を理解している。	学級の児童生徒を取り巻く環境や多様な個性を理解し、児童生徒一人一人に向き合うことができる。	学年の児童生徒を取り巻く環境や多様な個性を理解し、児童生徒一人一人に向き合うことができる。	学校の児童生徒を取り巻く環境や多様な個性の理解について、同僚に指導助言ができる。
		児童生徒指導	個や集団を指導するスキルを理解している。	保護者や校内組織と連携して、個に応じた指導ができる。	関係機関等と連携した学年全体の指導ができる。	関係機関等と連携した学校全体の指導について、同僚に指導助言ができる。
	特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	特別支援教育に関する理念や指導・支援方法等について理解している。	特別な配慮や支援が必要な児童生徒の教育的ニーズを把握できるとともに、保護者や校内組織と連携し、個に応じた適切な指導・支援ができる。	特別な配慮や支援が必要な児童生徒の教育的ニーズを把握できるとともに、関係機関等と連携し、個に応じた適切な指導・支援ができる。	特別な配慮や支援が必要な児童生徒の教育的ニーズを把握できるとともに、具体的な指導・支援方法等について、同僚に指導助言ができる。	
	ICTや情報・教育データの利活用	ICTや情報・教育データを活用した教育の実践	ICT及び情報・教育データの利活用に関する目的の理解や、知識・技術を獲得している。	ICTや情報・教育データを利活用した授業及び児童生徒指導等を実践できる。	ICTや情報・教育データを利活用した工夫ある授業及び児童生徒指導等を実践できる。	ICTや情報・教育データを利活用した授業及び児童生徒指導等について、同僚に指導助言ができる。
	組織としての学校を支えるマネジメント力	組織としての学校の理解と学校経営	組織としての学校や校務分掌、学級担任の役割及び職務内容を理解している。	学校の教育目標を理解した上で、学級経営及び教科経営の方針を策定し、実践できる。	分掌主任、学年主任として、「芯の通った学校組織」を意識した学校経営や教科経営を積極的に推進できる。	・「芯の通った学校組織」を意識して、PDCAサイクルによる進行管理ができる。 ・授業改善や教育課程改善の充実に向け、管理職への提案や、同僚に指導助言ができる。
		人材育成	組織的な人材育成の重要性について理解している。	初任者等のメンターとして、校内の組織的な人材育成に参画できる。	分掌主任、学年主任として、課題を共有できる環境作りや、OJT等を通じた人材育成ができる。	学校マネジメントの中核を担う教員として、課題を共有できる環境作りや、OJT等を通じた人材育成について、同僚に指導助言ができる。
		業務遂行・時間管理能力	計画的な業務遂行と時間管理の意義と重要性を理解している。	担当業務を責任と時間管理の意識をもって正確かつ迅速に遂行ができる。	担当する分掌業務等を責任をもって適切に進行管理できるとともに、質の向上及び時間管理の観点で積極的に業務の改善ができる。	学校全体の業務を責任をもって適切に進行管理できるとともに、質の向上及び時間管理の観点での業務の改善について、同僚に指導助言ができる。
		危機管理	危機管理の重要性及び危機を察知した際の行動を理解している。	安全に配慮した教室環境等の整備と、危機を察知した際の迅速な対応ができる。	危機を予測した未然防止の取組と、危機を察知した際の迅速な対応ができる。	危機を予測した未然防止の取組と、危機の早期発見、早期対応、再発防止について、同僚に指導助言ができる。
		家庭、地域との連携	ボランティア活動等を通じて、家庭や地域との連携の重要性を理解している。	家庭、地域と積極的に関わり、連携・協働した対応ができる。	家庭、地域、関係機関と積極的に関わり、連携・協働した対応ができる。	家庭、地域、関係機関との連携・協働のネットワークの確立ができる。

求められる教職員像

<ul style="list-style-type: none"> 専門的知識をもち、実践的指導力のある人 使命感にあふれ、高い倫理観と豊かな人間性をもつ人 柔軟性と創造力をそなえ、未知の課題に立ち向かう人 学校組織の一員として考え行動する人 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科等に関する専門的知識 ・学習指導や生徒指導等に関する実践的指導力 ・強い責任感や思いやりの心 ・教育公務員としてのより高度な規範意識 ・円滑に教育活動を進めることができる対人関係能力 ・広い視野、柔軟な発想、企画力 ・困難なときにこそ常に創造力を発揮し、新しい課題に果敢に取り組む姿勢 ・学校組織の一員として考え行動する姿勢 ・校長のリーダーシップのもと、教育課題の解決に組織として取り組む姿勢
--	--

※指標は、全ての教員等に対応するものとして策定しています。養護教諭・栄養教諭については、具体的な業務の内容に応じて、下表のとおり読みかえること～読みかえの例～

<p>養護教諭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業、授業展開⇒保健教育・健康相談 ・学級経営⇒保健室経営・保健管理 ・学級担任⇒養護教諭 	<p>栄養教諭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業、授業展開⇒食に関する指導 ・学級経営⇒学校給食管理 ・学級担任⇒栄養教諭
---	---

「芯の通った学校組織」とは

学校教育課題の解決に向けて具体的な目標や取組を設定し、目標達成のために学校全体で検証・改善を重ねるとともに、その基盤として校長等管理職の下、ミドルリーダーたる主任等が効果的に機能する学校運営体制が構築されている学校組織のこと

大分県公立学校教員育成指標(管理職)

現 行

キャリアステージ		副校長・教頭		校長	
		校長の学校経営ビジョンの下、学校運営全体の推進・調整役として、アセスメントやファシリテーション等に関する力の向上を通じて管理・運営能力の伸長を図る		リーダーとして、「学校マネジメント(目標達成マネジメント及び組織マネジメント)」を推進するため、アセスメントやファシリテーション等に関する力を基盤として学校経営能力の伸長を図る	
資質能力					
教職としての素養	社会人に求められる基礎的な能力	倫理観・法令遵守	高い倫理観をもって、法令を遵守した教育活動を展開することについて、指導ができる。		
		コミュニケーション能力	組織の目的や自分の意思が相手に充分伝わるよう説明ができるとともに、関係者の協力が得られるよう所属を代表して相手の意見も踏まえながら調整ができる。		
	教育公務員の使命と責任	使命感と熱意	学校の経営を担う者としての自覚を深め、自ら学び続けるとともに、全校的視座に立った指導ができる。		
教職の実践	学習指導と評価の力	授業構想力	学習指導要領に基づき、育成を目指す資質能力を明確にした授業の視点で、自校や地域の特色に応じたカリキュラム編成ができるよう、情報を的確に把握・分析ができる。	学習指導要領に基づき、育成を目指す資質能力を明確にした授業の視点で、自校や地域の特色に応じたカリキュラム編成ができる。	
		授業展開力	授業展開や授業改善について、指導助言ができる。	カリキュラム及び授業展開や授業改善について、指導助言ができる。	
		授業評価と改善	自校の取組の評価とカリキュラムの改善のため、自校の課題を的確に把握・分析ができる。	自校の取組の評価とカリキュラムの改善ができる。	
	児童生徒指導と集団づくりの力	児童生徒理解	学校の児童生徒を取り巻く環境や多様な個性について、学校全体の状況を的確に把握・分析ができる。	学校の児童生徒を取り巻く環境や多様な個性について、教職員相互の理解を促進する体制の構築ができる。	
		児童生徒指導	関係機関等と連携する環境の整備と連携を推進し、学校全体の状況を的確に把握・分析ができる。	関係機関等と連携する環境の整備と連携の推進を行い、組織的に対応する体制の構築ができる。	
	特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	特別支援教育の実践	特別な配慮や支援が必要な児童生徒の教育的ニーズを把握できるとともに、自校の課題を的確に分析ができる。	特別な配慮や支援が必要な児童生徒の教育的ニーズを把握できるとともに、自校の課題について、組織的に対応する体制の構築ができる。	
	ICTや情報・教育データの利活用	ICTや情報・教育データを活用した教育の実践	ICTや情報・教育データを利活用し、改善すべき自校の課題を的確に把握・分析ができる。	ICTや情報・教育データの利活用について、ビジョンの策定及び体制の構築ができる。	
	組織としての学校を支えるマネジメント力	組織としての学校の理解と学校経営	・「芯の通った学校組織」の活用推進に向け、校長の学校経営についてのビジョンの共有や調整ができる。 ・教職員の心理的安全性を確保した組織的な学校運営ができる。	・「芯の通った学校組織」の活用推進に向け、学校経営についてのビジョンの策定及びプランの構築ができる。 ・職員に対して学校経営ビジョンの共通理解を図り、学校の教育目標達成に向けて、教職員の心理的安全性を確保した組織的な学校経営ができる。	
		人材育成	・校長の人材育成についてのビジョンの共有や調整ができる。 ・職員を公正・公平に評価できるとともに、職員の適性や能力を把握し、組織的な人材育成ができる。	・組織的な人材育成についてのビジョンの策定及び体制の構築ができる。 ・職員を公正・公平に評価できるとともに、研修履歴を活用し、対話に基づく指導助言等を通じた人材育成ができる。	
		業務遂行・時間管理能力	・学校全体の業務を適切に進行管理ができる。 ・職員の在校等時間の適正化に向けた自校の課題を的確に把握・分析し、職員に対して時間管理の徹底ができる。	・職員の在校等時間の適正化に向けた組織体制やカリキュラム等の改善ができる。 ・職員に対して時間管理の共通理解を図るとともに徹底ができる。	
		危機管理	・危機の未然防止のため、学校環境の改善ができる。 ・危機発生時の的確な対応について指導ができる。 ・危機の再発防止のため、取り組むべき課題を的確に把握・分析ができる。	・危機の未然防止のための学校環境の抜本的改善ができる。 ・危機発生時に組織的に対応できる体制の構築ができる。 ・危機の再発防止を図る体制の構築ができる。	
		家庭、地域との連携	「地域とともにある学校」への転換と「協育」ネットワークの活用推進ができる。	・「地域とともにある学校」への転換と「協育」ネットワークの活用推進を図る体制の構築ができる。 ・関係機関や家庭、地域との連携を適切に行いながら学校経営ができる。	

※アセスメント能力(様々なデータや学校が置かれた内外環境に関する情報について、収集・整理・分析し共有する能力)
ファシリテーション能力(学校内外の関係者の相互作用により学校の教育力を最大化する能力)

大分県公立学校教員育成指標(教諭等)

改訂案(読みかえを削除)

キャリアステージ		第0ステージ 養成期	第1ステージ 基礎形成期	第2ステージ 発展期	第3ステージ 充実深化・円熟期	
		教育に対する知見を深め、求められる資質能力の基盤を形成する	採用から早い時期に、教員としての幅広い視野と能力の伸長を図る	基礎形成期の多様な経験をもとに、中堅教員として各種の分掌主任等を経験することなどで一層の能力伸長を図る	・発展期での経験をもとに、管理分野や教科指導等の専門分野の複線化も視野に入れ、より一層の能力伸長を図る ・学校経営ビジョンを理解し、職責、経験に応じたリーダーシップの向上を図る	
教職としての素養	社会人に求められる基礎的な能力	倫理観・法令遵守 高い倫理観を有するとともに、法令を遵守することの重要性を理解している。	高い倫理観に基づき、法令を遵守した教育活動の展開ができる。		高い倫理観をもって、法令を遵守した教育活動を展開することについて、同僚に指導助言ができる。	
	教育公務員の使命と責任	使命感と熱意 教育公務員の崇高な使命を理解するとともに、自ら学び続ける意欲及び研究能力を有している。	教育公務員としての自覚をもち、組織の一員としての行動ができるとともに、専門性を高めるために自ら学び続けることができる。	教育公務員としての自覚を深めるとともに、自ら学び続け、分掌主任、学年主任等として、同僚に助言ができる。	教育公務員としての自覚を深めるとともに、自ら学び続け、学校マネジメントの中核を担う教員として、同僚に指導助言ができる。	
	コミュニケーション能力	状況に応じて、相手が理解できるように自分の考えを伝えたり、相手の話を丁寧に聴くことができる。	関係者との連絡調整を適切に行い、職務を円滑に遂行できる。		組織の目的や自分の意思が相手に充分伝わるよう説明ができるとともに、関係者の協力が得られるよう相手の意見も踏まえながら調整ができる。	
教職の実践	学習指導と評価の力	授業構想力	学習指導要領を理解するとともに、育成を目指す資質能力を明確にした授業のイメージをもつことができる。	学習指導要領に基づき、育成を目指す資質能力を明確にした授業の指導計画を適切に実施できる。	学習指導要領及び自校の指導方針に基づき、育成を目指す資質能力を明確にした授業の指導計画を立案し、同僚に指導助言ができる。	
		授業展開力	授業展開に必要な基礎的なスキルを獲得している。	基礎的なスキルを生かした授業展開ができる。	児童生徒の実態に即した授業展開ができる。	児童生徒の実態に即した授業展開について、同僚に指導助言ができる。
		授業評価と改善	学習評価の意義と方法について理解している。	児童生徒一人一人の学習状況の把握と個に応じた適切な指導ができる。	適切な授業評価に基づく授業改善ができる。	適切な授業評価に基づく授業改善について、同僚に指導助言ができる。
	児童生徒指導と集団づくりの力	児童生徒理解	児童生徒理解の意義と重要性を理解している。	学級の児童生徒を取り巻く環境や多様な個性を理解し、児童生徒一人一人に向き合うことができる。	学年の児童生徒を取り巻く環境や多様な個性を理解し、児童生徒一人一人に向き合うことができる。	学校の児童生徒を取り巻く環境や多様な個性の理解について、同僚に指導助言ができる。
		児童生徒指導	個や集団を指導するスキルを理解している。	保護者や校内組織と連携して、個に応じた指導ができる。	関係機関等と連携した学年全体の指導ができる。	関係機関等と連携した学校全体の指導について、同僚に指導助言ができる。
	特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	特別支援教育に関する理念や指導・支援方法等について理解している。	特別な配慮や支援が必要な児童生徒の教育的ニーズを把握できるとともに、保護者や校内組織と連携し、個に応じた適切な指導・支援ができる。	特別な配慮や支援が必要な児童生徒の教育的ニーズを把握できるとともに、関係機関等と連携し、個に応じた適切な指導・支援ができる。	特別な配慮や支援が必要な児童生徒の教育的ニーズを把握できるとともに、具体的な指導・支援方法等について、同僚に指導助言ができる。	
	ICTや情報・教育データの利活用	ICTや情報・教育データを活用した教育の実践	ICT及び情報・教育データの利活用に関する目的の理解や、知識・技術を獲得している。	ICTや情報・教育データを利活用した授業及び児童生徒指導等を実践できる。	ICTや情報・教育データを利活用した工夫ある授業及び児童生徒指導等を実践できる。	ICTや情報・教育データを利活用した授業及び児童生徒指導等について、同僚に指導助言ができる。
	組織としての学校を支えるマネジメント力	組織としての学校の理解と学校経営	組織としての学校や校務分掌、学級担任の役割及び職務内容を理解している。	学校の教育目標を理解した上で、学級経営及び教科経営の方針を策定し、実践できる。	分掌主任、学年主任として、「芯の通った学校組織」を意識した学校経営や教科経営を積極的に推進できる。	・「芯の通った学校組織」を意識して、PDCAサイクルによる進行管理ができる。 ・授業改善や教育課程改善の充実に向け、管理職への提案や、同僚に指導助言ができる。
		人材育成	組織的な人材育成の重要性について理解している。	初任者等のメンターとして、校内の組織的な人材育成に参画できる。	分掌主任、学年主任として、課題を共有できる環境作りや、OJT等を通じた人材育成ができる。	学校マネジメントの中核を担う教員として、課題を共有できる環境作りや、OJT等を通じた人材育成について、同僚に指導助言ができる。
		業務遂行・時間管理能力	計画的な業務遂行と時間管理の意義と重要性を理解している。	担当業務を責任と時間管理の意識をもって正確かつ迅速に遂行ができる。	担当する分掌業務等を責任をもって適切に進行管理できるとともに、質の向上及び時間管理の観点で積極的に業務の改善ができる。	学校全体の業務を責任をもって適切に進行管理できるとともに、質の向上及び時間管理の観点での業務の改善について、同僚に指導助言ができる。
危機管理		危機管理の重要性及び危機を察知した際の行動を理解している。	安全に配慮した教室環境等の整備と、危機を察知した際の迅速な対応ができる。	危機を予測した未然防止の取組と、危機を察知した際の迅速な対応ができる。	危機を予測した未然防止の取組と、危機の早期発見、早期対応、再発防止について、同僚に指導助言ができる。	
家庭、地域との連携		ボランティア活動等を通じて、家庭や地域との連携の重要性を理解している。	家庭、地域と積極的に関わり、連携・協働した対応ができる。	家庭、地域、関係機関と積極的に関わり、連携・協働した対応ができる。	家庭、地域、関係機関との連携・協働のネットワークの確立ができる。	

求められる教職員像

<ul style="list-style-type: none"> 専門的知識をもち、実践的指導力のある人 	<ul style="list-style-type: none"> 教科等に関する専門的知識 学習指導や生徒指導等に関する実践的指導力
<ul style="list-style-type: none"> 使命感にあふれ、高い倫理観と豊かな人間性をもつ人 	<ul style="list-style-type: none"> 強い責任感や思いやりの心 教育公務員としてのより高度な規範意識 円滑に教育活動を進めることができる対人関係能力
<ul style="list-style-type: none"> 柔軟性と創造力をそなえ、未知の課題に立ち向かう人 	<ul style="list-style-type: none"> 広い視野、柔軟な発想、企画力 困難なときにこそ常に創造力を発揮し、新しい課題に果敢に取り組む姿勢
<ul style="list-style-type: none"> 学校組織の一員として考え行動する人 	<ul style="list-style-type: none"> 学校組織の一員として考え行動する姿勢 校長のリーダーシップのもと、教育課題の解決に組織として取り組む姿勢

「芯の通った学校組織」とは

学校教育課題の解決に向けて具体的な目標や取組を設定し、目標達成のために学校全体で検証・改善を重ねるとともに、その基盤として校長等管理職の下、ミドルリーダーたる主任等が効果的に機能する学校運営体制が構築されている学校組織のこと

大分県公立学校教員育成指標(管理職)

改訂案(変更なし)

キャリアステージ		副校長・教頭		校長	
		校長の学校経営ビジョンの下、学校運営全体の推進・調整役として、アセスメントやファシリテーション等に関する力の向上を通じて管理・運営能力の伸長を図る		リーダーとして、「学校マネジメント(目標達成マネジメント及び組織マネジメント)」を推進するため、アセスメントやファシリテーション等に関する力を基盤として学校経営能力の伸長を図る	
資質能力					
教職としての素養	社会人に求められる基礎的な能力	倫理観・法令遵守	高い倫理観をもって、法令を遵守した教育活動を展開することについて、指導ができる。		
		コミュニケーション能力	組織の目的や自分の意思が相手に充分伝わるよう説明ができるとともに、関係者の協力が得られるよう所属を代表して相手の意見も踏まえながら調整ができる。		
	教育公務員の使命と責任	使命感と熱意	学校の経営を担う者としての自覚を深め、自ら学び続けるとともに、全校的視座に立った指導ができる。		
教職の実践	学習指導と評価の力	授業構想力	学習指導要領に基づき、育成を目指す資質能力を明確にした授業の視点で、自校や地域の特色に応じたカリキュラム編成ができるよう、情報を的確に把握・分析ができる。	学習指導要領に基づき、育成を目指す資質能力を明確にした授業の視点で、自校や地域の特色に応じたカリキュラム編成ができる。	
		授業展開力	授業展開や授業改善について、指導助言ができる。	カリキュラム及び授業展開や授業改善について、指導助言ができる。	
		授業評価と改善	自校の取組の評価とカリキュラムの改善のため、自校の課題を的確に把握・分析ができる。	自校の取組の評価とカリキュラムの改善ができる。	
	児童生徒指導と集団づくりの力	児童生徒理解	学校の児童生徒を取り巻く環境や多様な個性について、学校全体の状況を的確に把握・分析ができる。	学校の児童生徒を取り巻く環境や多様な個性について、教職員相互の理解を促進する体制の構築ができる。	
		児童生徒指導	関係機関等と連携する環境の整備と連携を推進し、学校全体の状況を的確に把握・分析ができる。	関係機関等と連携する環境の整備と連携の推進を行い、組織的に対応する体制の構築ができる。	
	特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	特別支援教育の実践	特別な配慮や支援が必要な児童生徒の教育的ニーズを把握できるとともに、自校の課題を的確に分析ができる。	特別な配慮や支援が必要な児童生徒の教育的ニーズを把握できるとともに、自校の課題について、組織的に対応する体制の構築ができる。	
	ICTや情報・教育データの利活用	ICTや情報・教育データを活用した教育の実践	ICTや情報・教育データを利活用し、改善すべき自校の課題を的確に把握・分析ができる。	ICTや情報・教育データの利活用について、ビジョンの策定及び体制の構築ができる。	
	組織としての学校を支えるマネジメント力	組織としての学校の理解と学校経営	・「芯の通った学校組織」の活用推進に向け、校長の学校経営についてのビジョンの共有や調整ができる。 ・教職員の心理的安全性を確保した組織的な学校運営ができる。	・「芯の通った学校組織」の活用推進に向け、学校経営についてのビジョンの策定及びプランの構築ができる。 ・職員に対して学校経営ビジョンの共通理解を図り、学校の教育目標達成に向けて、教職員の心理的安全性を確保した組織的な学校経営ができる。	
		人材育成	・校長の人材育成についてのビジョンの共有や調整ができる。 ・職員を公正・公平に評価できるとともに、職員の適性や能力を把握し、組織的な人材育成ができる。	・組織的な人材育成についてのビジョンの策定及び体制の構築ができる。 ・職員を公正・公平に評価できるとともに、研修履歴を活用し、対話に基づく指導助言等を通じた人材育成ができる。	
		業務遂行・時間管理能力	・学校全体の業務を適切に進行管理ができる。 ・職員の在校等時間の適正化に向けた自校の課題を的確に把握・分析し、職員に対して時間管理の徹底ができる。	・職員の在校等時間の適正化に向けた組織体制やカリキュラム等の改善ができる。 ・職員に対して時間管理の共通理解を図るとともに徹底ができる。	
		危機管理	・危機の未然防止のため、学校環境の改善ができる。 ・危機発生時の的確な対応について指導ができる。 ・危機の再発防止のため、取り組むべき課題を的確に把握・分析ができる。	・危機の未然防止のための学校環境の抜本的改善ができる。 ・危機発生時に組織的に対応できる体制の構築ができる。 ・危機の再発防止を図る体制の構築ができる。	
		家庭、地域との連携	「地域とともにある学校」への転換と「協育」ネットワークの活用推進ができる。	・「地域とともにある学校」への転換と「協育」ネットワークの活用推進を図る体制の構築ができる。 ・関係機関や家庭、地域との連携を適切に行いながら学校経営ができる。	

※アセスメント能力(様々なデータや学校が置かれた内外環境に関する情報について、収集・整理・分析し共有する能力)
ファシリテーション能力(学校内外の関係者の相互作用により学校の教育力を最大化する能力)

大分県公立学校教員育成指標(養護教諭)

改訂案(追加)

※ 本指標は、「大分県公立学校教員育成指標(教諭等)」に加えて求められる養護教諭の専門性に関する資質能力を定めたもの。

キャリアステージ		第0ステージ 養成期	第1ステージ 基礎形成期	第2ステージ 発展期	第3ステージ 充実深化・円熟期
		教育に対する知見を深め、求められる資質能力の基盤を形成する	採用から早い時期に、養護教諭としての幅広い視野と能力の伸長を図る	基礎形成期の多様な経験をもとに、中堅養護教諭として各種の分掌主任等を経験するとともに、関係者等と連携した実践により一層の能力伸長を図る	・発展期での経験をもとに、管理分野や保健教育等の専門分野の複線化も視野に入れ、より一層の能力伸長を図る ・学校経営ビジョンを理解し、職責、経験に応じたリーダーシップの向上を図る
資質能力		各キャリアステージを通して、専門性を生かし、校内の学校保健の推進体制の中核として、教職員間の連携をコーディネートする力の伸長を図る。			
教職の実践	養護教諭としての専門的な力	保健室経営	学校の教育目標を理解した上で、保健室経営計画を作成し、計画に基づいた保健室経営を実践できる。	保健室経営計画を教職員や保護者に周知し、理解と協力を得て、保健室経営を実践できる。	保健室経営計画の改善を図り、関係者等と連携した保健室経営について、地域の養護教諭に指導・助言ができる。
	保健管理	学校保健安全法に基づき、保健管理を実践できる基本的な知識や技能を獲得している。	健康診断、健康観察、救急処置、学校環境衛生及び感染症等の適切な保健管理を実践できる。	健康診断、健康観察、救急処置、学校環境衛生及び感染症等の評価・改善について、関係者等と連携しながら、保健管理を実践できる。	学校の実態に即した保健管理の評価・改善について、教職員や地域の養護教諭に指導・助言ができる。
	保健教育	学習指導要領を理解するとともに、育成を目指す資質能力を明確にした指導のイメージをもつことができる。	学習指導要領に基づき、児童生徒の発達段階や健康課題に応じた保健教育を実践できる。	学習指導要領や自校の指導方針に基づき、児童生徒の発達段階や健康課題に応じて、教職員や関係者等と連携しながら、保健教育を実践できる。	学習指導要領や自校及び他校の指導方針に基づき、児童生徒の発達段階や健康課題に応じた保健教育について、教職員や地域の養護教諭に指導・助言ができる。
	健康相談・個別の保健指導	健康相談や保健指導の意義や方法について理解している。	教職員や保護者と連携しながら、児童生徒個々の健康課題を把握し、健康相談や個別の保健指導を実践できる。	関係者等と連携しながら校内支援体制を充実させ、多様な課題を抱える児童生徒について、健康相談や個別の保健指導を実践できる。	関係者等と連携した支援体制づくりについて、教職員や地域の養護教諭に指導・助言ができる。
	保健組織活動	保健組織活動の重要性について理解している。	保健に関する校内組織を活用した学校保健活動を実践できる。	保健に関する校内組織での教職員の役割を明確にし、関係者等と連携した保健組織活動について教職員に助言ができる。	関係者等と連携した保健組織活動の推進体制づくりについて、教職員や地域の養護教諭に指導・助言ができる。

大分県公立学校教員育成指標(栄養教諭)

改訂案(追加)

※ 本指標は、「大分県公立学校教員育成指標(教諭等)」に加えて求められる栄養教諭の専門性に関する資質能力を定めたもの。

キャリアステージ		第0ステージ 養成期	第1ステージ 基礎形成期	第2ステージ 発展期	第3ステージ 充実深化・円熟期
		教育に対する知見を深め、求められる資質能力の基盤を形成する	採用から早い時期に、栄養教諭としての幅広い視野と能力の伸長を図る	基礎形成期の多様な経験をもとに、中堅栄養教諭として各種の分掌主任等を経験するとともに、関係者等と連携した実践により一層の能力伸長を図る	・発展期での経験をもとに、管理分野や教科等における食に関する指導等の専門分野の複線化も視野に入れ、より一層の能力伸長を図る ・学校経営ビジョンを理解し、職責、経験に応じたリーダーシップの向上を図る
資質能力		各キャリアステージを通して、専門性を生かし、校内の食育の推進体制の中核として、教職員間の連携をコーディネートする力の伸長を図る。			
教職の実践	栄養教諭としての専門的な力	教科等における食に関する指導	学習指導要領に基づき、児童生徒の発達段階に応じて、学校給食を生きた教材とした食に関する指導ができる。	学習指導要領や自校の指導方針に基づき、食に関する指導と評価の計画を教職員と共有しながら食に関する指導ができる。	学習指導要領や自校及び他校の指導方針に基づき、食に関する指導について、教職員や地域の栄養教諭に指導・助言ができる。
	個別の相談指導	個別の相談指導の意義や方法について理解している。	教職員や保護者と連携しながら、食に関する健康課題を有する児童生徒個々の状況を把握し、個別の相談指導を実践できる。	関係者等と連携しながら、食に関する健康課題を有する児童生徒個々の発達段階に応じた個別の相談指導を実践できる。	食に関する健康課題を有する児童生徒の個別の相談指導について、教職員や地域の栄養教諭に指導・助言ができる。
	栄養管理	学校給食実施基準を理解し、栄養管理、献立作成に関する知識を有している。	学校給食に地場産物や郷土料理を取り入れ、生きた教材となる献立作成ができる。	児童生徒の食生活の状況を踏まえ、適切な栄養管理を行った上で、生きた教材となる献立作成ができる。	児童生徒の健康課題に対応した適切な栄養管理を行うとともに、生きた教材となる献立作成を行うことについて、地域の栄養教諭に指導・助言ができる。
	衛生管理	学校給食衛生管理基準を理解し、衛生管理に関する知識を有している。	学校給食衛生管理基準に基づき、調理従事者に対し、衛生的な作業について指導ができる。	学校給食衛生管理基準に基づき、関係者等と連携し、調理場内の設備等の改善や衛生管理の評価・改善ができる。	学校給食衛生管理基準に基づき、調理場内の設備等の改善や衛生管理について、地域の栄養教諭に指導・助言ができる。